

【今回予告】

「S 県月宮の襲来」

ねえ、どうして私だけを見てくれないの？
なんで？なんで？なんでなんでなんでなんでなんで！！！！！！

脅威：「ヤンデレ娘 月宮」

ランク：0

スキル：「執念」「※悪意」「※悪意」「※悪意」（愛）

特技：盗聴、隠れる、予知（思い込み）、超握力（愛の力）、超腕力（愛の力）、
爪（警棒のようなもの）

異音：

PC も元にある日手紙またはメールが届く。
そこには「前世の頃からずっと一緒になると決まっていた」や「魔女によって
生き別れてしまった」云々といった電波的なことが多数書かれていた。
それから数日後、「良かった、魔女につかまってしまったんじゃないかとお
もった」と見知らぬ女性が……
女性に対し PC が「誰？」や「何を言っている？」もしくは女性が「捕まっ
ていないなら、どうして約束の場所に来てくれなかったの？」という発言後
フリーズし再起へ

再起：

なんで？なんで？なんでなんでなんでなんでなんで！！！！！！
再起判定後「※悪意」「※悪意」「※悪意」を使用。

狂騒：

情報無し。

脅威は破壊を行う。

決戦：「お兄ちゃんどいて！そいつ殺せない」

全体攻撃 爪、超腕力、超握力の順で攻撃。

再起時に「※悪意」「※悪意」「※悪意」。

再起失敗時に「執念」

戦闘後：

警察に連行または何らかの手段で姿を消して、二度と彼女とは会えないだろ
う。
もし、警察などに話を聞く機会があったとしても、そのような事件は知らな
いといわれる。

タイトル：S 県月宮の襲来

作者：和太鼓

講評：
年バレルぞ。

元ネタを知らなくても「こいつはやべえ」と思わせるのに十分な描写があり、
また事件に関わる緊急性という意味では非常に優秀なシナリオだと言えます。
気軽に回していい内容ではありませんが気軽に遊べるとてもいいシナリオで
しょう。

重箱の隅をつつくのであれば、決戦後の描写です。

一見ホラーのような展開でこれはこれで面白いのですが、警察に連行させる
という選択肢が勿体無いです。何らかの手段で姿を消す、という方法であれば
不気味な存在として終わりにできるのですが、警察に連行される展開を選んだ
場合、事件が現実のものとして描写されることから、やや雰囲気損ないます。
元ネタへのリスペクトとしての描写とはわかりますが、フィクションはフィク
ションとして、もう一つ突き抜けられると良いでしょう。